

# トマト通信



no. 82

発行 平成23年3月10日

愛媛県議会議員  
**ほんぐういさむ**の  
県政レポート

発行所 **ほんぐういさむ事務所**  
〒799-1527 今治市長沢甲 1045 番地 6  
TEL0898-47-1393 FAX0898-47-1693

## 2月県議会 一般質問



**長期計画の策定にあたって  
県民意見の反映と政策実現  
をいかにめざすか？**

〈中村時広知事〉

今回策定する新しい長期計画は、十年先を見据えた長期ビジョンとその具体化を図る四年間のアクションプランからできています。基本理念は県民の幸せを第一に、明日を信じる前向きな気持ちから「愛のくに 愛顔（えがお）あふれる愛媛県」を実現を図る政策体系は、「産業」、「暮ら

し」、「ひとづくり」、「環境」を柱に掲げていきます。県民主役の計画となるよう、自ら地域に向かい、市町の首長や各界の代表者等と意見交換をするともに、県議会、学識経験者、有識者の方々から提言やアドバイスをいただきます。これらの取組みを通じて、長期計画をしっかりと策定したいと考えております。

### 県議会一般質問

2月定例県議会は、1日、一般質問に入ります。本宮勇（自民党）、木村晋（公明党）

### 獣医師確保へ修学資金

新年度 県就職で返済免除



本宮 勇氏

農林水産部長  
東倉勝利経済労働部長

小企業の製品や経営者を目指す学生に修学資金を貸与し、本県への就職で返済を免除する。獣医師確保対策事業を実施し、学生段階から獣医師の確保を図る。

新政クラブの青野勝（自民）3氏が県議員確保への対策や県営住宅のバリエーション化、市町との職員交流促進などを取り上げた。3日は阿部悦子（環境市民）徳永繁樹（自民）両氏が質問に立つ。

佐伯満孝農林水産部長  
近年、獣医師を目指す学生はベトナムやタイなど海外に目を向けている。受験上限年齢を35歳に引き上げ、月額3万円の初任給調整など待遇改善にも努めている。2011年度からは獣医師を目指す学生に修学資金を貸与し、本県への就職で返済を免除する。獣医師確保対策事業を実施し、学生段階から獣医師の確保を図る。

### 首都圏に向けた 県産農林水産物PR

〈中村時広知事〉

首都圏でのPRは極めて重要な取組みで、特に若い世代や女性に照準を合わせ、情報発信力や民間企業の企画力を活用した訴求力の高い新たなPR手法の必要性を強く感じています。カフェスタイルの情報発信基地を試験的に設置し、愛媛産品のイメージを高めるPRに取り組みたいと考えております。また、ブログやツイッターといったネットメディアの活用を進め、民間企業とのコラボにも積極的に取り組めます。

詳しい質問内容は  
ホームページに  
掲載しています

### 今治園地の地場産業 再生への取り組み

〈東倉勝利経済労働部長〉

今治園地の活性化を図るためには、主力産業のタオル・造船など地場産業の活力再生が不可欠で、競争力と経営基盤の強化が喫緊の課題であると認識しております。

県においては、繊維産業技術センターでのタオル製品の高付加価値化・ブランド化につながる戦略的試験研究やタオル産地の知名度向上を図るグリーンタオルファクトリズム事業等の推進のほか、今治高等技術専門校での繊維技術者スキルアップ訓練や、今治地域造船技術センターへの運営助成などによる、中核人材の育成にも努めています。

### 獣医師養成大学の 今治市設置について

〈横田潔企画情報部長〉

今治市への獣医師養成系大学の設置につきましては、これまで、八回にわたり特区提案を行ってきましたが、結局、実現には至っていません。現在、四国地域には、獣医師養成系大学が立地しておらず、獣医師が不足している状況です。万一、口蹄疫や鳥インフルエンザなどの大規模な感染症が発生した場合、十分な対応が取れない恐れがあり、獣医師の安定確保は、本県にとって重要な課題であると認識しております。

県といたしましては、今後とも、今治市と連携・協力しながら、獣医師養成系大学の設置が実現するよう、粘り強く国に働きかけて参ります。

### 県立今治病院の 地域医療の取り組み

〈公営企業管理者〉

地域の中核病院である県立今治病院は、「地域医療連携室」を設置して、地域医療機関との連携を強化してきました。今治市では、中高年に多く発症する脳梗塞に対して、県内初となる「24時間三六五対応」の救急輪番体制が、通常の救急体制とは別に整備されています。さらに、今治病院等の救急病院で集中的な治療を受けた患者が診療計画を共有する回復期の病院に引き継がれ、切れ目のない治療を受けることができるようになっていきます。

また、周産期医療に対し、「地域周産期母子医療センター」を本年四月に今治病院へ開設します。これにより安心して地域で出産できる環境を整備したいと考えています。

### 県職員獣医師の 確保と対策

〈佐伯満孝農林水産部長〉

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病から畜産業を守るためには、県職員の獣医師の確保が極めて重要です。しかし、現実には採用人数が十分に確保できていない状況が続いています。本県では、受験上限年齢を緩和して三五歳に採用条件を引き上げ、調整手当を創設するといった待遇改善に努めてきました。さらに、次年度予算に獣医師を目指す学生に修学資金を貸与し、本県への就職で返済を免除する「獣医師確保対策事業費」の創設を計上しています。

### 今治警察署整備と 大規模災害への 取り組み

〈岸本吉生警察本部長〉

今治警察署は、築後四十五年が経過しています。このため、利用者の方々に不便な思いをさせ申し訳なく思っています。また、署員数が建築当時より人数

が増加しており、新庁舎の建設が必要であると考えるようになりました。今後、平成二三年度に庁舎設計及び地質調査を行い、平成二五年度中に、新庁舎で業務を開始する予定です。新庁舎の建設については、警察活動の成果の向上はもとより、利便性の向上や美観など、要望を伺いながら検討します。県警では、警察本部に災害対策室を設置し、防災体制を強化しました。中でも、広域緊急援助隊は、県の枠を越え出動する災害警備のプロで、中国・四国合同の実戦的災害警備訓練等で、他県の部隊との連携、災害救助能力の向上に努めています。大規模災害は、いつか必ず発生するとの認識のもと、実戦的訓練を反復実施するとともに、地域住民の皆様と連携し、各種施策に取り組んでまいります。

# 2011年度県当初予算案

2月15日、愛媛県は平成23年度一般会計予算案を発表しました。また、財政健全化に向けて、約8千万円の総人件費の抑制や、定員適正化などに取り組みます。中村時広知事は「前加戸県政のベースを引き継ぎながら、厳しい財政状況の中でも、未来志向の予算編成ができた」と話しました。主な新規事業として、今治市での新繊維産業技術センター整備事業（7289万円）、今治新都市土地区画整理事業（2564万円）などを計上しています。

ほんぐういさむは、県議会や委員会ではこれらの事業への質問を重ね、事業実現に積極的に取り組みました。活動の一部をご紹介します。

## 平成23年度 重要施策提案・要望項目

### 獣医師養成系大学の設置に関する規制の緩和について

獣医師の養成に係る大学等の設置又は収容定員増を抑制する文部科学省告示の構造改革特区による規制緩和

四国内の獣医師志願者にとって、著しく不利な状況にある教育の機会均等と、獣医師の地域偏在の是正を図るため、大学等の設置の際の入学定員の取扱いに関する文部科学省告示を特区（今治新都市）で規制緩和すること。

### しまなみ海道における軽車両通行料金の無料化について

自転車をはじめとする軽車両通行料金の無料化

国策として検討されている「高速道路の無料化」の一環として、しまなみ海道原付・自転車道において、自転車をはじめとする軽車両通行料金の無料化社会実験を実施すること。

### しまなみ海道沿線住民への支援について

しまなみ海道沿線の島内住民に対して、高速道路通行料金を割り引く支援措置の創設

瀬戸内しまなみ海道は、沿線の島内住民にとって通勤、通学等日常生活を送る上で必要不可欠な道路であり、近距離利用者にとっては、実質的な料金の値上げとなることから、島内住民に対して、高速道路通行料金を割り引く支援措置を講ずること。

### 学校施設の耐震化の促進について

公立高等学校等の耐震化については、公立小・中学校施設と同様の地方財政制度を創設すること。

公立小・中学校等施設の耐震化に係る補助制度の更なる拡充と改正地震防災対策特別措置法による国庫補助率嵩上げ措置の適用期間の延長を図ること。

私立学校施設の耐震化について

私立学校施設の耐震化を促進するため、補助率の引上げや要件緩和、必要な財源措置を行うこと。

## 2010 2003

2010年(平成22年)3月10日 水曜日

**県民目標の政治を貫く**

**県議会一般質問**

**計画達成へ150億必要**

教育長 財政支援を国に要望

本宮 勇氏

県立学校の耐震化

「県立学校の耐震化への取り組みは、藤岡澄教長が、県議として強く要望している。仙波隆三保健福祉部長は、厚労省の調査で、基金のほか既存の補助事業も活用し、耐震化を促進したい。」

「改修促進計画の通りは、2015年度に耐震化率80%が当面の目標。達成には、09年度以降の6年間で150億円の規模が必要で、財政確保が大きな課題。耐震化への財政支援を国に強く要望している。特に危険性が高い施設には、耐震化計画書の策定指導などを強く働きかけ、事業も活用し、耐震化を促進したい。」

2003年(平成15年)10月1日 水曜日

**県議会一般質問**

**移転整備早期に検討**

財政状況など見極め

副知事

本宮 勇氏

自民

「吉野内副知事、タオル、アパレル産業の構造改善の取り組みを加速させ、顧客重視の売れる物を提供する仕組みを構築し、導入に、さらに積極的に取り組む考えは、繊維産業のさらなる振興策は、再検討したい。」

「吉野内副知事、タオル、アパレル産業の構造改善の取り組みを加速させ、顧客重視の売れる物を提供する仕組みを構築し、導入に、さらに積極的に取り組む考えは、繊維産業のさらなる振興策は、再検討したい。」



愛顔あふれる元気なまちに!

2009

**県議会一般質問**

**速い学校耐震化100%**

「県議から、耐震化を急ぐよう求める声が強い。理事者は本会議で、2010年度末に50%以上、2011年度末に100%への引き上げを表明した。県から大きく後を取っている愛媛県、7日の文書では100%へ引き上げ、見通しを明らかにした。」



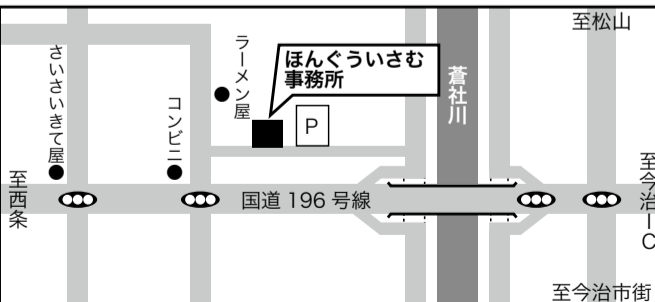
▲愛媛県知事選の街宣風景

## 平成23年度一般会計予算 (今治市関係分)

- 新繊維産業技術センター整備事業費 7289万円  
26年度に開設予定。基本設計及び実施設計などの内容となっています。
- 今治新都市土地区画整理事業 2564万円  
新都市の都市計画道路の整備事業費に相当する額を助成します。
- 上島架橋整備事業 22820万円  
岩城から弓削の岩城橋本体と生名から弓削の島内道路に対する基礎調査など。
- 玉川湖ボートコース整備事業 5137万円  
玉川湖にボートコースを新設し、競技会場として整備します。
- 東予地域資源活用促進事業 994万円  
しまなみ周遊サイクリング普及事業などで交流人口の拡大と振興をはかります。
- 県立学校校舎等整備事業 174901万円  
優先度の高い校舎から順次整備等に取り組み、耐震化の促進を図ります。
- 今治警察署設計調査費 4956万円  
26年まで、庁舎、車庫・霊安室などの設計調査を行います。

## 後援会からのお知らせ

後援会長に森 昭左氏 (今治市農業委員長)、  
顧問に先田通夫氏 (元県議会議長)、  
後援会事務所を中寺に開設!!  
(今治市中寺 959-2)



新しい事務所にぜひ、お越しください

## 人と人の絆づくりに、秘密はありません



▲知事室で中村知事と

政治家の方々の絆は、日々の活動から生まれることが多く、同じ政党や会派、委員会などで知り合った人々と、意見を交わすことが多いようです。政党が違っても、志を同じくするところがあつたり、尊敬できる人柄や清廉な行動に、心ひかれる人たちがもたらしています。

先般の愛媛県知事選では、知事選の街宣の責任者となって、中村時広知事(その際は候補でしたが...)と行動をとりました。

中村知事とは、まちづくりを真剣に考えるという姿勢も似ており、世代も近いので、街宣車の中で、愛媛県をいかに活気ある地域にするか、この地域を愛顔(えがお)あふれる地域にするかを、議論しました。もちろん、街宣活動も懸命にこなししました。

こうした時間と体験が、知事との心の絆をつくりあげることにつながったのではないかと思っています。

中村知事と過ごした時間で、知事の見識と先見性、真面目さを知ることができたのも大きな収穫でした。尊敬できる人物だからこそ、街宣活動を頑張ることができたのだ、とも思います。

何ごとも、「誠意」「一生懸命さ」が必要であることを、知事との選挙活動が教えてくれました。これからは、愛媛のため、中村知事とともに力の限り頑張ります。